

12月6日(水)は、中田先生による算数科の研究授業でした。本単元は、順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように起こり得る場合を順序よく図や表などを用いて整理して調べたり考察したりする学習を行いました。本時は、体育科のソフトバレーボールの学習と関連させ、4チームでの対戦数がどれだけあるか、図や表を用いて考えていく学習でした。本時の授業と事後研究の様子をお知らせします。

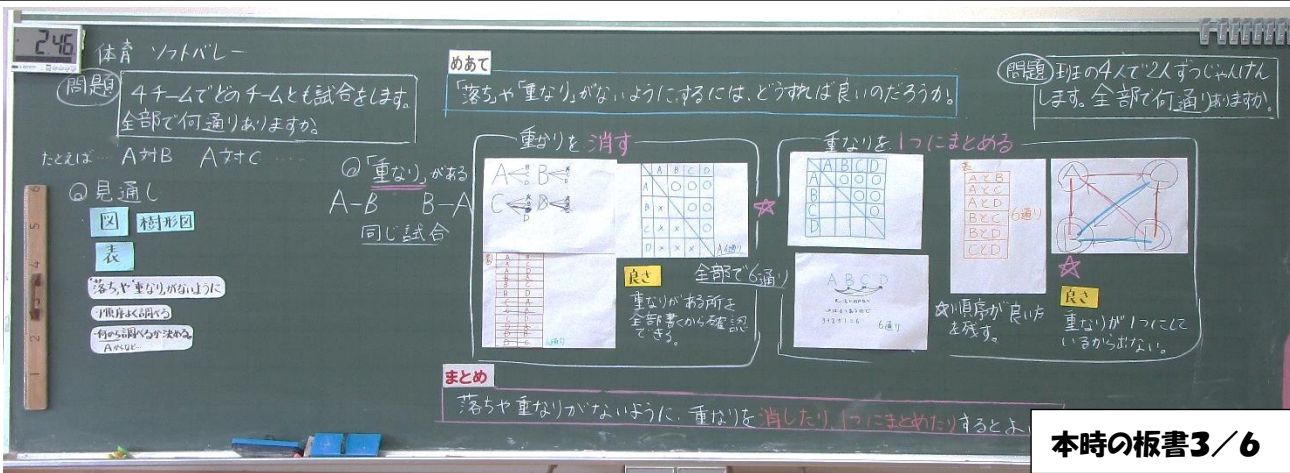
単元名 「並べ方と組み合わせ方」(東京書籍)

全6時間

6年1組 中田 慎一郎 先生

本時の目標：組み合わせについて落ちや重なりのないように調べる方法を考え、図や表などを用いて調べることができる。

本時における見方・考え方：組み合わせについて、落ちや重なりのないように図や表を適切に用いて、順序よく筋道立てて調べようとする。



中田先生による授業のリフレクション

児童の様々な考えを、教師がどのように分類・整理していくのが今回の研究協議の中で最も考えた論点でした。どの教科でも学習過程の中にある指導場面ですが、自分の授業をふり返った際にまだまだ自分がもっていきたい授業の方向へ教師が引っぱってしまっていると感じました。板書も含めて児童の思考の中で整理ができ、学習の終末に授業を進めていけるように努力していきます。また、自然な問題の内容であったり授業で付けた力を使って解決できるような適用問題を設定したりすることも取り組んでいきます。

授業参観の視点(3点)に沿ってグループで協議を行い、全体共有しました。(抜粋)

- 1 本単元で身に付けさせたい資質・能力を育成するための主体的・対話的な学習活動の設定**
 - 自力解決・グループ活動の時間が十分に確保され、対話がうまれていた。
 - 子ども達は、自分の考え方を話したり、友達の意見を聞き合ったり、それぞれの考えの違いを比べながら話し合いができていた。
 - 解決方法を自分で選択して、課題に取り組みしていたことがよかった。
 - ▼子ども達は、よく対話していたので、子どもにもっと任せたり、子どもの思考をさらに促すための発問の工夫があるとよかった。
- 2 児童が本気になる問題や課題の工夫**
 - 体育科の「ソフトバレーボール」の学習と関連させ、数学的な課題へとつなげていたことがよかった。
 - ▼問題設定に用いた言葉も含め、不自然なものになっていたのではないかと。試合は「何通り」ではなく「何試合」のほうが適切であり、適用問題のじゃんけんの問題場面については実際にそのような場面があるのか考える必要があった。子どもの生活にある場面と結び付けたい。
- 3 「数学的な見方・考え方」を働かせるための手立てや働きかけ**
 - 表や図など、どのように解決していくのか見通しをもたせていたことがよかった。
 - これまでの学習を生かし、表や図を使いながら子ども達の様々な考え方が出ている。
 - 子ども達の考えを「重なりを消す方法」「重なりを1つにまとめる方法」と比較して板書していたことがよかった。
 - 子どもの新たな考えを取り上げ、全体で共有したり、様々な方法を試させたりしていたことがよかった。
 - ▼考え方と方法が混同していたため、明確に説明できるとよかった。
 - ▼考えが曖昧なところを整理していくとより深まったのではないかと。
 - ▼「落ち」「重なり」と同時に観点を決めるとということにも注目させて整理することが大切ではないかと。
 - ▼子どもの考えを整理していく中で、良さについても話し合いながら気付かせていきたい。

中田先生からの研究授業では、グループ活動の中で、子ども達が自分の考えと友達の考えとを比べながら対話する場面が見られました。その中で、子ども達の考えを整理したり、発問を工夫したりすることでさらに思考を深めていけるよう手立てや働きかけをしていかなければならないと思いました。子どもの学びを支援する「伴走者」として、指導力の向上を目指していきましょう！

12月6日の校内研修の校長先生からの資料を抜粋して載せています。

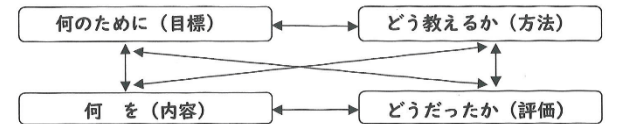
授業づくりについて、もう一度振り返り、3学期の授業に向けて考えていきましょう。

「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業づくりについて

中村小学校 校長 徳弘 純一

授業とは...

目標(学習指導要領)⇒内容(学習指導要領・教科書)⇒方法(授業者)⇒評価(授業者)の一方通行でなく



- ☆授業研究とは、うへの4つを究(極)めることで、授業力向上を果たしていくこと。
- *とちすると、小学校の授業研究は、方法論(方法の工夫)に走りがち...
- ☆授業研究の目的は、1年間・6年間を通した子どもの学力形成・学び方形成にある。
- ⇒日常の授業(学習指導と評価)の改善と質的充実のためにある!
- ☆学力成果を上げていくことは、日常の授業=学習指導と評価の質を改善していくこと。
- ⇒学力の成果=授業(指導と評価)の質が問われる。学力調査問題に太刀打ちできる授業か?